

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスももたろう		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小規模施設のため、児童個人へ深く関わることが出来る。	一人ひとりの特性に応じての対応を日々、心がけている。 遊具、玩具含め教材等は特性や興味に応じて揃えている。 行き届いた清掃を行い、こども自身の整理整頓の指導の支援に繋げている。	日々の療育の中で、個人の様子を見ながら改善点を話し合いよりよい療育の内容にしているスタイルを継続して持つ。
2	帰宅送迎について、保護者の要望(時間)に応えられるよう数台に分けての送迎を実施している。	こどもの体調や機嫌の観察を行いながら車中も楽しく過ごせるように対応している。	安全運転で行えるように体調管理は引き続き、怠らないようにする。
3	職員同士のつながりが深く、お互いにカバーし合っって一日がスムーズに過ごせるように個々が心がけている。	支援提供が予定通り進められるように事前の打ち合わせを密に行い、前もっての準備もしている。	当日の連絡帳での送迎時間の変更や、当日の伝言が抜けることあり、報・連・相の徹底を今一度、気を引き締めることとする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の高齢化	ベテラン職員の強みで、連携は取れているが、次の世代へのバトンタッチが出来ないことで事業の継続に不安がある。	若い世代の有資格者の募集を引き続き行っていく。
2	大地震の時、建物倒壊、津波の恐怖がある。	生き延びるための訓練を毎月行っている。巨大地震や津波の画像を見ながらの訓練も行い、気持ちの備えは常に持つようになっている。	耐震診断の必要を検討中。(大家に未相談)
3			